

# 令和4年度学校法人大原学園 事業報告書

## 1. 法人の概要

学校法人名	学校法人大原学園	認可年月日	昭和39年1月9日
住所	奈良県奈良市富雄元町1丁目13-41	代表電話	0742-47-1111

設置する学校・学部・学科（R4年5月1日現在）

設置する学校	入学定員	収容定員	現員	備考
大原和服専門学園	290	470	41	
研究員ほか	—	—	21	

設置学科名：(家庭専門課程) 和裁科、和裁専攻科、和裁研究科、着物染織科、着物工芸科

■役員の概要等（令和4年3月末日現在） ○理事 定員6名 現員6名

区分	氏名	常勤・非常勤の別
理事長	大原敏敬	常勤
理事	大原健嗣	常勤
理事	吉田季世子	常勤
理事	熊谷宝子	非常勤
理事	黒島敏	非常勤
理事	中川博文	非常勤

○監事 定員 2名以上3名 現員2名

監事	高橋 直嗣	非常勤
監事	多中 祥元	非常勤

○評議員の概要（令和4年3月末日現在） 定員数13名 現員13名

氏名	主に現職
吉田季世子	大原和服専門学園園長補佐 卒業生
酒井道子	大原和服専門学園学務部リーダー 卒業生
村橋恵子	大原和服専門学園 卒業生
谷清美	大原和服専門学園学務部 卒業生
森田智子	大原和服専門学園職員 栄養士
大原加容子	大原和服専門学園職員
熊谷宝子	理事 京都きものコンサルタント協会 理事長
黒島敏	理事 (株)びん工房 代表取締役 京友禅伝統工芸士
大原健嗣	理事長 (株)ayanasu 代表取締役社長
大原文子	大原和服専門学園 卒業生
石井千香子	大原和服専門学園 卒業生
蛸原香代子	大原和服専門学園学務部 卒業生
増田 元絵	大原和服専門学園職員

○教職員の概要（令和4年5月1日現在）（単位：人）

区分	計	
教員	本務	5
	兼務	16
職員	9	

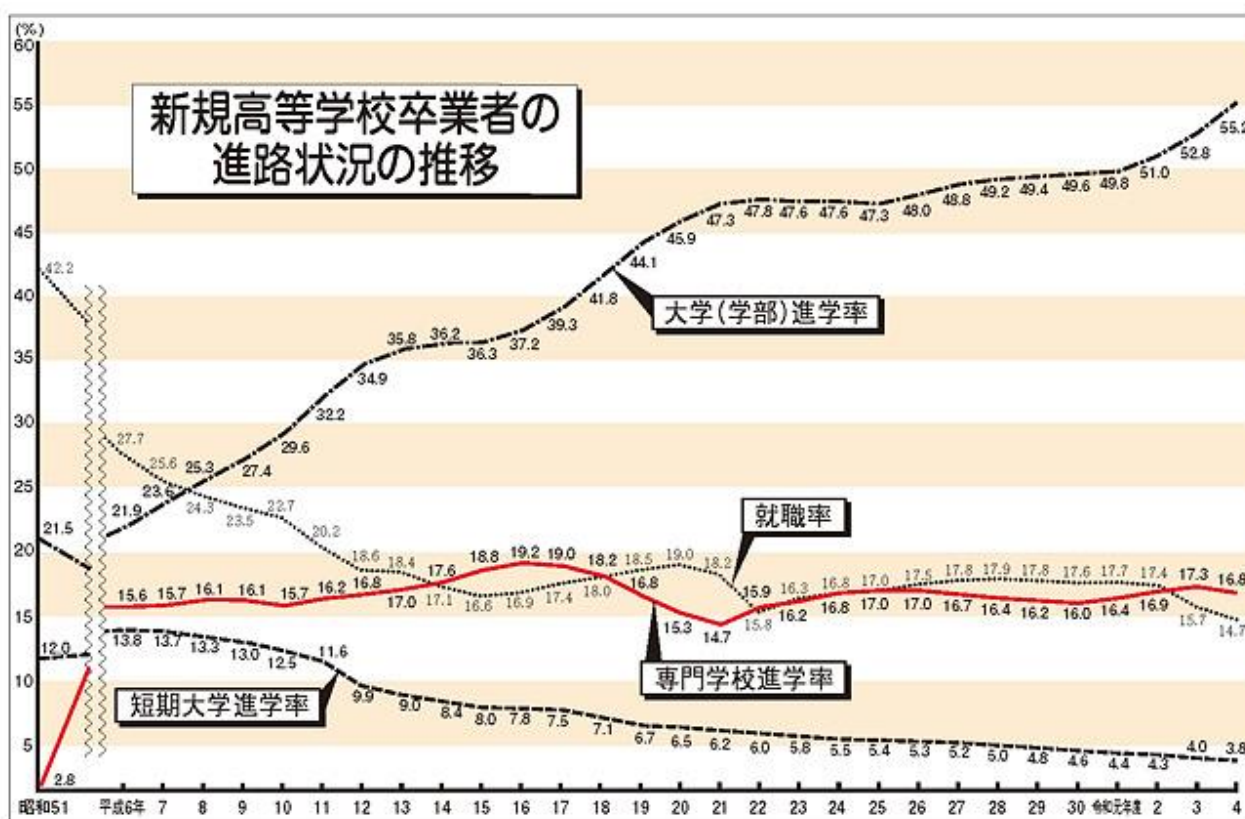
# ◎令和4年度の経営状況の概観と課題

## ○市況概観

令和4年3月の高校卒業者は前年度より2万1777人減少して99万230人となり、100万人の大台を割った。このうち大学(学部)へ進学した者は54万6589人で、進学率は前年度より2.4ポイント上昇して55.2%となり、過去最高を記録した。

短大(本科)進学率は3.8%で、3万7253人となり、平成6年度の13.8%をピークに減り続けている。大学等への現役進学率は59.5%で前年度より2.1ポイントアップした。就職者は1万3239人減の14万5887人。就職率は1.0ポイントダウンの14.7%だった。

専門学校への新規高卒者の進学率は16.8%で16万5906人。進学率は前年度より0.5ポイントダウンした。専門学校の在籍者は前年度より2万5507人減の58万1522人、5年ぶりに減少、60万人の大台を割った。このうち女子の在籍者は33万4783人で全体の57.6%を占めている。



■着物市場は、コロナの影響によるイベントの中止や自粛により、2020年に2605億円から1925億円へ73.8%と大幅に市場規模が縮小したが、2021年、2022年とその後は順調に回復をしているが、顧客の固定化や高齢化など課題も多くある。

今後は、新しい顧客の創造に対する取り組みが大変重要であり、夏祭りやお正月などでの浴衣や着物着用の推進や新しい節目の提案により着物着用機会の創出が必要と思われる。当学園は、オンラインポータル・プラットフォームの構築を目指しており、昨年着物情報サイト「きものつく」を開設したが、これらを活用しオンラインによる情報発信の強化により、業界やユーザーにも発信し、市場の活性化に取り組んでいきたいと考えている。

## ○会務報告

### (1) 理事会

第1回 令和 4年 5月31日(火) 14:00~15:05  
第2回 平成 5年 3月31日(金) 14:00~15:15

### (2) 評議員会

第1回 令和 4年 5月31日(火) 16:00~16:45  
第2回 平成 5年 3月31日(木) 10:00~11:00

### (3) 学校評価体制の整備

#### 1. 自己点検自己評価委員の実施

学校関係者評価委員会の実施を踏まえた自己点検自己評価を令和4年8月4日(木)に実施。

#### 2. 学校関係者評価委員会の実施

開催日時：令和4年10月15日(土)

### (4) 教育課程編成委員会

和裁分科会及び染織分科会は、令和5年3月に、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けている業界の現状をふまえた今後予測される影響を委員からの書面による意見聴取をおこないとりまとめた。

## ○教育、授業関連、学科編成 等

### (1) 専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研修事業の実施

学園独自の家庭の経済的な要件による授業料減額支援制度で2名を認定した。しかし、認定者2名が新型コロナウイルス感染症による家計の影響がなかったため奈良県への申請は見送ることとなった。

### (2) 企業臨地実習

企業臨地実習は7年目となり、新型コロナウイルス感染症に留意しながら着物染織科の2名の学生が企業臨地実習をおこなった。

### (3) 技能大会などの学修成果

#### 1. 技能五輪全国大会

○技能五輪千葉大会(第60回技能五輪全国大会)

会期：令和4年11月4日(金)~7日(月)

場所：(競技)幕張メッセ (閉会式)千葉ポートアリーナ

3名の在校生が奈良県代表選手として出場

1名：銅賞 1名：敢闘賞を受賞

○技能五輪奈良予選会(第61回技能五輪全国大会)

当学園から6名出場。

会 期 令和5年1月19日(木)

場 所 大原和服専門学園

## 2. 第66回全国和裁技術コンクール

昨年に引き続き作品応募の形式での開催となった。

応募期間：令和4年10月3日(月)～31日(月)

審査：令和4年12月11日(日)

参加：学生4名

## 3. 第15回現代手織物クラフト公募展

着物の部入選 2名 九寸帯の部入選 5名

## ○着物振興・ものづくり振興活動

本年度は、アフターコロナを見据えて、奈良県職業能力開発協会や関連団体3団体との連携し、厚生労働省の若年技能者人材育成支援等事業・文化庁の伝統文化親子教室事業を実施した。

### (1) 和ッザニア in NARA

開催日時：令和4年9月3日(土) 10:00～16:00

開催場所：大原和服専門学園

参加者数：体験数は、和裁15名、染色13名、織物31名、着付け6名 合計65名の小  
中学校生とその保護者の参加があった

### (2) 令和4年度 第32回奈良技能フェスティバル

主催：奈良県職業能力開発協会

開催時期：令和4年11月20日(日) 9:30～16:30

開催場所：奈良県庁舎主棟前回廊・奈良公園バスターミナル

和裁・織物体験の及び、着物展示

参加者数：体験数は 和裁：35名、織物13名

### (3) 関係団体との連携による着物振興活動

○奈良県和裁技能士会と連携した「子ども和裁教室」の実施

会場：奈良市音声館 参加人数18名・計9回

7月9日(土)・30日(土)・8月6日(土)・27日(土)・9月10日(土)

10月8日(土)・11月2日(水)・12月10日(土)・1月14日(土)

作品発表：1月15日(日)～25日(水)

○奈良県染織技能振興会と連携した「子ども織物教室」の実施

会場：大原和服専門学園 参加人数11名

カード織体験 7月16日(土) 24日(日)・8月6日(土) 21日(日)

染色体験 9月17日(土)・10月1日(土)・15日(土)

○和装教育国民推進会議奈良と連携した「親子着付け教室」の実施

(西支部) 奈良市 (東支部) 橿原市 (南支部) 天理市 各6回

## ○就職等進路

就職等進路については、着物業界全体は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい業況であったが、昨年に引き続き希望者全員進路決定をすることができた。

## ○学園広報活動、学生募集活動等、業界連携活動など

### 1. 学園広報活動

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていたイベントが再開され、体験や学生の作品の出品などおこなった。また、着物に興味のある層へ学校認知を広げるため、きもの情報サイト「きものつく」を開設した。

(1) きものサローネ2022 令和4年11月5(土)・6(日)

場所：東京国際フォーラム

学生きもの優秀作品展に学生作品2点出品



(2) 東京キモノショー 令和5年3月24日(金)～26日(日)

メイン会場4会場・サテライト会場18会場 会期中9445名の来場

当学園は、スタイル展に学生作品を出品



(3) 着物情報サイト「きものつく」開設

令和4年10月に着物に興味のある層に学園の認知を促進するため、きもの情報サイト「きものつく」を開設。

## 2. 学生募集活動

本年度も、新型コロナウイルス感染症をふまえて、体験入学会の実施に加えて、引き続きオンラインによる個別説明の実施や学園説明動画にて学園の情報提供をおこなった。

(1) 体験入学会

18回の体験入学会とオンライン説明会を実施した。

5月28日(土)・6月11日(土)・6月25日(土)・7月9日(土)・26日(火)・28日(木)・8月23日(火)・26日(金)・27日(土)・9月24日(土)・10月22日(土)・11月12日(土)・12月10日(土)・1月28日(土)・2月25日(土)・3月11日(土)・3月22日(水)・3月25日(土)

(2) オンライン説明会

ZOOMを使用したオンライン学園説明

および大原和服チャンネルを開設し、HP内にWEB学園説明の動画にて情報提供を継続した。